

京都大学総合博物館 平成29年度企画展

The Kyoto University Museum Exhibition

—方法としての三次元—

# 大地の 形をつかむ

Topographical Models and Surveying Instruments  
in Kyoto University

2017年  
11月1日(水)—12月17日(日)

- ◆開館時間 9時30分～16時30分(入館は16時まで)
- ◆休館日 月曜日・火曜日(平日・祝日にかかわらず)
- ◆入館料 一般400円／高校生・大学生300円／小学生・中学生200円
- ※20名以上は団体料金を適用
- ※障害者手帳をお持ちの方とその付き添いの方1人、70歳以上の方、  
京都大学学生および教職員、京都府下の大学在籍の学生は無料(要証明証)

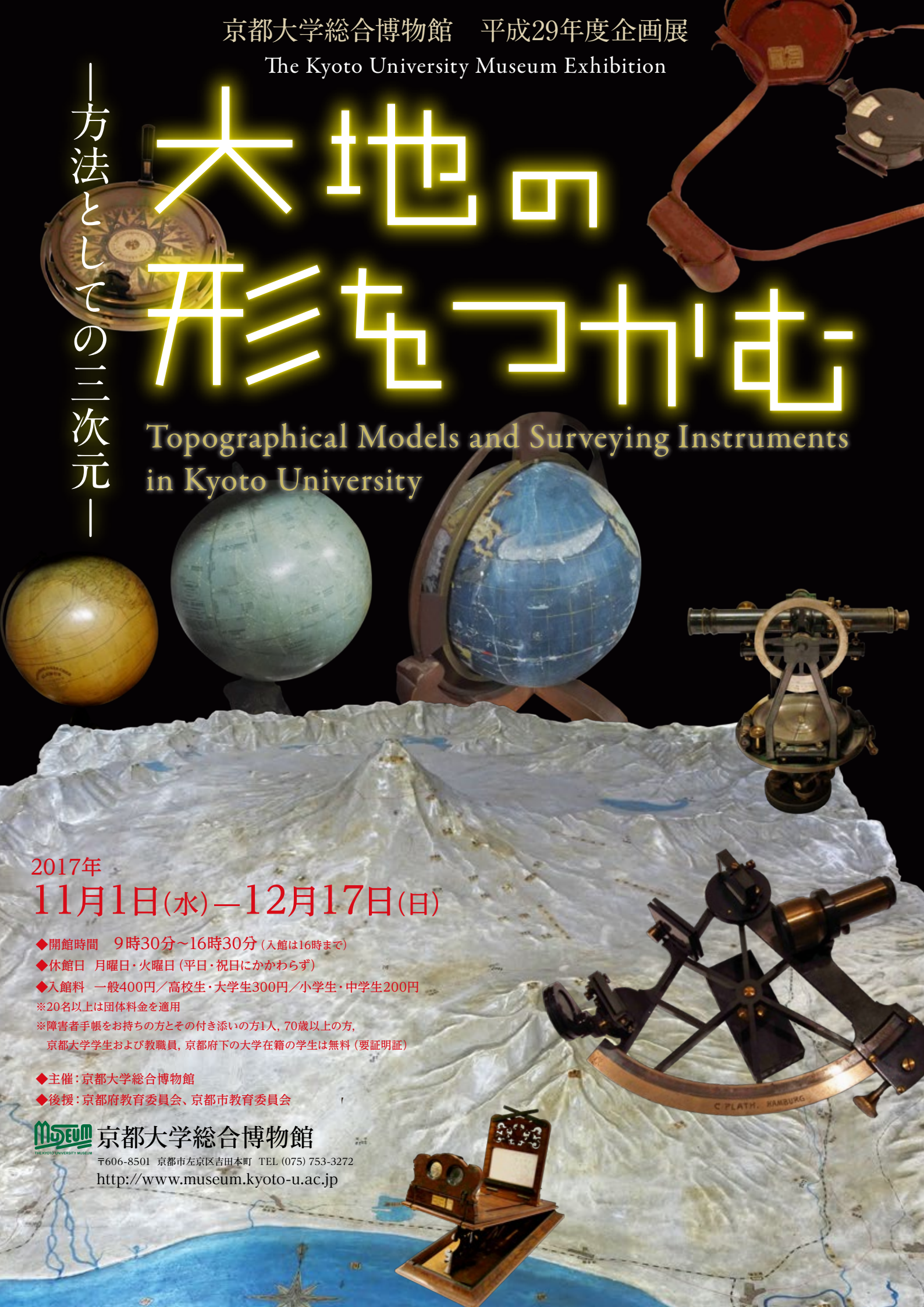
- ◆主催:京都大学総合博物館
- ◆後援:京都府教育委員会、京都市教育委員会



京都大学総合博物館

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 TEL (075) 753-3272

<http://www.museum.kyoto-u.ac.jp>



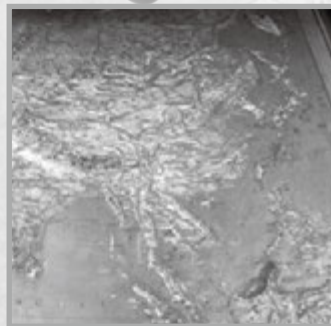
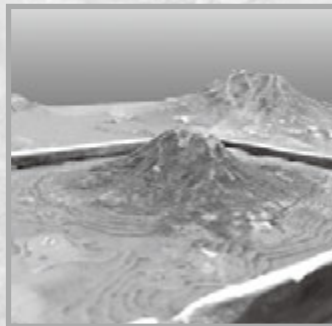
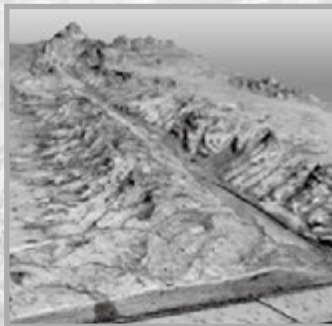
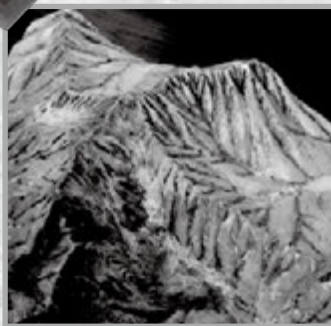
# 大地の 形をつかむ

Topographical Models and Surveying Instruments  
in Kyoto University

—方法としての三次元—

大地は決して平板ではなく、地理の理解には立体である地形に対する深い洞察が欠かせません。その際、二次元に投影された地図だけでなく、地表面を三次元のものとして捉える様々な模型、測量器具類を用いることが重要な役割を果たします。

本企画展では、100年余りの歴史を持つ京都大学の地理学研究・教育において、収集・使用されてきた地形模型をはじめとする様々な資料や測量器を一堂に並べ紹介します。また、これにより、地理学が人文社会科学のみならず、自然科学の素養をも必要とする「総合」の科学であることを明らかにしていきます。地形の凹凸に注目することで立ち現れる魅力あふれる地理学の世界を、ぜひ体感してみてください。



展示関連講演会(申込不要、先着順)

12月9日(土) 14:30~16:00

「地図から読む地形と地域社会—新旧地形図の比較を通じて—」

山村亜希(京都大学大学院人間環境学研究所・准教授)

会場：京都大学総合博物館本館3F講演室

※参加無料(ただし、博物館への入館料は必要)



## 京都大学総合博物館

〒606-8501 京都市左京区吉田本町  
TEL (075) 753-3272  
FAX (075) 753-3277  
info@inet.museum.kyoto-u.ac.jp  
http://www.museum.kyoto-u.ac.jp/

### 交通機関

- 京阪電車 「出町柳駅(でまちやなぎえき)」下車徒歩約15分
- 市バス JR/近鉄京都駅から17・206系統、  
阪急河原町駅から3・17・31・201系統、  
地下鉄烏丸線今出川駅から201・203系統、  
地下鉄東西線東山駅から31・201・206系統  
「百万遍(ひやくまんべん)」下車徒歩約2分

※駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。



### 開催期間：

2017年11月1日(水) — 12月17日(日)

### 開館時間：

9:30 ~ 16:30(入館は16:00まで)

### 休館日：

毎週月曜日・火曜日(平日・祝日にかかわらず)

### 入館料：

一般400円  
高校生・大学生300円/小学生・中学生200円

※20名以上は団体料金を適用

※障害者手帳をお持ちの方とその付き添いの方1人、70歳以上の方、  
京都大学学生および教職員、京都府下の大学在籍の学生は無料  
(要証明証)